

USB メモリを使用する当社製品について

当社製品で USB メモリを使用する製品についての情報をまとめました。

- **使用できる USB メモリ**

- 規格: USB 2.0/3.0/3.1
- 容量: 32 ギガバイト以下
- フォーマット: FAT32

- **使用できないもの**

- ・セキュリティ機能をもつ USB メモリ
- ・暗号化機能を持つ USB メモリ
- ・FAT32 以外でフォーマットされた USB メモリ
- ・書き込み回数の上限により、書き込み時間が長い USB メモリ
- ・容量が 64 ギガ以上の USB メモリ、HDD は確実ではありません。

- **既知の問題点**

- ・USB ハブの利用はできません。
- ・メモリーカードリーダーを用いて SD メモリなどを接続した場合は動作保障できません。
- ・書き込み途中で USB メモリを抜き差しすると USB メモリを電氣的に破壊することがあります。
- ・日本語及びロングファイルネームのファイルやフォルダを扱うことができない製品があります。
→文字化けやアクセス不良が発生します。
- ・GND ラインにノイズがある環境では USB メモリへの書き込みが不安定になる場合があります。
- ・USB 規格のバージョンの違いにより機器との相性が発生する場合があります。
- ・Windows7 以後の PC で **FAT32** フォーマットした場合、正しく読書きができない場合があります。
- ・USB-A コネクタの規格上の挿抜回数は 1500 回となります。
→頻りに抜き差しする場合は短めの延長ケーブルを使用し、交換してください。
- ・USB メモリを計測器と接続した後に PC につなぐと ScanDisk が行われ、処理なしで完了する。
→計測器側でアンマウント機能がないため DirtyBit と呼ばれるエリアが設定され発生します。
データには問題がないので、ScanDisk はそのままキャンセルしても問題ありません。

- **FAT32 フォーマットについて**

Windows XP の PC で FAT32 フォーマットした USB メモリと Windows7 以後の PC でフォーマットした USB メモリでは形式が異なります。このため当社の一部の機器では新しい FAT32 のフォーマットで誤動作する場合があります。(ファイルが見えない、異常なファイルが表示されるなど) お手持ちの USB メモリが当社の機器で正しく動作しない場合は、保存されているファイルを全て退避したうえで USB メモリの再フォーマットすることで動作することがあります。

再フォーマットは旧式の Windows XP または Linux の PC で FAT32 形式のフォーマットを行うか、古い形式の FAT32 でフォーマットできるツールを使用してください。

現在確認できているフォーマットツールは以下の通りです。

- EaseUS Partition Master Free(日本語対応)

<http://jp.easeus.com/partition-manager-software/free.html>

インストール後、次の設定でフォーマットします。

名前を付けて作成: プライマリ、ファイルシステム: FAT32